

令和元年第3回定例会一般質問 会議録（抜粋）

令和元年9月20日

3 投票所の環境整備等による利便性向上について

○松本議員

～略～

3番、投票所の環境整備等による利便性向上についてですが、7月の参議院選挙では投票率は前回に比べ2.15ポイント減少し、近隣市と比べても低い状況です。今後の選挙に向けて投票率向上の取組みが求められます。

この投票率の向上には投票行動につながる投票所の利便性も大切かと思いますが、どう考えかお聞かせください。

～略～

○嶋野議長

選挙管理委員会事務局長。

○橋本選挙管理委員会事務局長

「投票所の利便性向上について」のご質問にお答えいたします。

全国的に投票率が低下傾向にある中、共通投票所の創設や、期日前投票の投票時間の弾力化など公職選挙法等の改正があり、選挙を取り巻く環境変化に伴い、有権者が投票しやすい環境を一層整備し、投票率の向上を図っていくことは、重要な課題でございます。

本市におきましては、投票所の利便性向上の一環といたしまして、期日前投票所を平成27年4月執行の大阪府議会議員選挙より、市役所1階ロビーに加え、ゆうゆうホール鳥飼西において新たに設置いたしました。期日前投票の投票者総数に占める利用状況は、平成27年12.8%、先の参院選では23.7%、約倍に増加し、有権者に浸透している状況となっております。

また、各投票所においては施設のバリアフリー化に応じて出入り口段差解消のための簡易スロープの設置、投票所内には車椅子用記載台の配置などにより、高齢者の方、障害のある方などが、投票しやすい環境の整備に努めているところでございます。

～略～

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

～略～

次に投票所の利便性向上についてですが、投票所の環境整備に今取り組まれていると認識しました。それを踏まえ、投票所の利便性向上への課題はどのようなものかお聞かせください。

○嶋野議長

選挙管理委員会事務局長。

○橋本選挙管理委員会事務局長

近隣市などでは、期日前投票で、多くの有権者の目に触れるショッピングセンターや駅構内への設置、また期日前投票の投票時間の弾力的な運用などの取り組みがされています。本市における現状分析をもとに、市域全体の有権者の利便性を考慮し、期日前投票所の見直しを検討して参りたいと考えております。

また、市内に22箇所の投票所のうち、狭隘な投票所が一部存在しておりまして、衆参同日選挙が施行された場合には、5種類の選挙が実施され、安全性の確保、投票の秘密保持ができなくなります。そうしたことから、同じ投票区内で、ほかに投票所として使用できる施設の実態調査を行って参りたいと考えております。

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

投票所の市域全体の課題と対策また地域毎の課題と対策、それぞれの状況は理解しました。

その中で地域ごとの課題への対応についてはどのようにされていくのかお聞かせください。

○嶋野議長

選挙管理委員会事務局長。

○橋本選挙管理委員会事務局長

地域ごとの課題と致しまして、投票所として使用しております現在の施設以外に、同一投票区内に新たに公共施設が整備されましたことにより、投票所までの距離、施設のバリアフリー化などから、投票所の変更を地元自治会から求められている投票所もございます。

また、第1投票区の投票所であります千里丘小学校体育館は、雨天時にグラウンドがぬかるみ、その都度コンパネによる対策を講じておりますが、投票所までの歩行移動にご不便をおかけしている部分がございます。

その他、投票所として利用しております一部の公共施設におきまして、空調の課題が

ございます。先の参院選も7月の暑い時期であり、地元立会人さんはじめ投票事務従事者には、長時間にわたり常時従事していただき、体調への影響も懸念されました。

今後、関係部署との連絡調整を図りながら投票所の利便性向上に努めて参りたいと考えております。

○嶋野議長
松本議員。

○松本議員

様々な地域の実情や要望に対応・検討していると理解しました。

その中で、味府体育館での投票所を地域内の距離を鑑み、別府コミュニティセンターへ移してほしいという地域の要望があります。是非、検討・具体化する事を要望致します。

また千里丘小学校についても経路のコンクリート打設を行う等、投票率向上につながる各投票所の研究・整備を進めるよう要望致します。

令和元年9月21日作成